

施策・基本事業評価表

作成日 平成 23 年 4 月 15 日

基本目標No.	4	基本目標名	人と文化を育むまち
施策No.	34	施策名	生涯スポーツ・レクリエーションの振興
主管課名	生涯学習・スポーツ課	主管課長名	中村重明
関係課名			

施策が目指すすがた	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもから高齢者まで幅広い年代層の市民が多種多様なスポーツに親しんでいます。</li> <li>競技スポーツの感動がまちに活力を与えています。</li> </ul>
-----------	---

施策の成果向上に向けての住民と行政との役割分担や地域等への期待など	市・事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの頃から生涯を通じた楽しいスポーツライフを目指します。</li> <li>子どもから高齢者まで、総合型地域スポーツクラブをみんなで支えます。</li> </ul>
	行政	<ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツ施設の整備、人的支援、スポーツクラブの育成を行います。</li> <li>スポーツ事業の開催、支援を行います。</li> </ul>
	その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>地区で各種スポーツ事業を自主的に行います。</li> </ul>

施策の成果達成にあたっての現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康志向の高まりや余暇時間の拡大などにより、市民のスポーツニーズが増大しており、誰もが体力に応じて、気軽にスポーツやレクリエーションを楽しむことができる環境づくりが求められています。</li> <li>スポーツ施設は充実しているものの、建設からかなり年数を経過した建物が多く、計画的に修繕や改修を行い、利用しやすい施設の整備に努める必要があります。</li> <li>小学生などを対象に早い時期から競技力を高めるための取り組みが必要です。</li> </ul>
--------------------	---

施策No.	34	施策名	生涯スポーツ・レクリエーションの振興
-------	----	-----	--------------------

基本事業名①		事業内容(活動内容)								
生涯スポーツ・レクリエーションの推進		幅広い年代層の市民が、多種多様なスポーツやレクリエーションに親しめるよう施設を整備するとともに、総合型地域スポーツクラブなど市民スポーツ活動を育成・支援します。								
①に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
総合型地域スポーツクラブ育成事業		総合型地域スポーツクラブを設立し、幅広い年代層にスポーツに親しめる環境を提供します。								
学校体育施設開放事業		学校体育施設をスポーツ利用のため一般に開放します。								
市民スポーツ奨励事業		市内で開催される全国規模なスポーツ大会を助成します。								
体育施設管理事業		スポーツ施設の適正な維持管理を実施します。								
基本事業①の目的【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
週1回以上スポーツをする市民の割合	%	24.8	20.0	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0	30.0	
総合型地域スポーツクラブ会員数	人	3,404	3,500	3,600	3,700	3,800	3,900	4,000	4,500	
			3,322							
基本事業名②		事業内容(活動内容)								
選手・指導者の育成と支援		各種競技における底辺の拡大と競技力の向上を図るため、選手や指導者の育成を図ります。								
②に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
市民体育大会、県民体育大会事業		市民にスポーツを普及振興するため市民体育大会を開催、県民に出場する選手に対し派遣経費の一部を補助します。								
スポーツ団体育成事業		地域のスポーツ活動の振興のため、市内13地区の体育振興会の活動に対し補助を行います。								
優秀選手強化事業		ジュニア育成、指導者講習、優秀選手派遣助成等により選手強化を行います。								
スポーツ少年団育成事業		スポーツを通して児童の交流を深めるスポーツ少年団の活動を育成します。								
基本事業②の目的【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
スポーツ少年団加入率	%	41.1	40.0	41.0	42.0	43.0	44.0	45.0	50.0	
スポーツ大会への参加者数	人	13,402	13,600	13,800	14,000	14,200	14,400	14,600	15,000	
			13,546							
基本事業名③		事業内容(活動内容)								
③に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業③の目的【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
基本事業名④		事業内容(活動内容)								
④に属する代表的な事務事業		事業内容(活動内容)								
基本事業④の目的【意図】										
成果指標名	単位	21年度実績	目標値(上段)及び実績値(下段)						27年度(中間目標値)	32年度(最終目標値)
			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		

施策の成果達成にあたって優先的に取り組むべき主な取組み

施策No.	34	施策名	生涯スポーツ・レクリエーションの振興
-------	----	-----	--------------------

22年度の 評価結果 (基本事業 の成果を考 慮し記載)	1. 施策(基本事業)の成果水準とその背景(近隣他市や以前との比較、特徴、その要因と考えられること)
	ア. 成果水準の推移(成果水準がここ数年どのように推移しているかを中心に記述) 市民アンケートでは 週1回以上、運動やスポーツを行っている市民の割合は、21年度の24.8%から22年度18.3%と減少している。週1日から 2日運動を行っている市民の割合は△1.1%の減少であるが、週3回以上運動を行っている市民の割合が11.3%から5. 9%と△5.4%と大きく減少しているのが影響している。総合型スポーツクラブの会員数、スポーツ少年団加入率はやや減少 しており、スポーツ大会の参加者は増加している。
	イ. 近隣他市との比較(成果水準が近隣他市と比較してどうであるかを中心に記述) スポーツ施設では、県内でも充実している方であり、学校施設についても開放しており、施設面では充実している。スポーツク ラブについても総合型、地域型併せて4つのスポーツクラブがあり県内でも組織率が高い。
	ウ. 住民期待水準との比較(成果水準が住民が期待していると思われる水準と比較してどうであるかを中心に記述) ①魚津市は、県内においてもスポーツ施設が充実している方であり、「生涯スポーツプラン」のアンケート調査においても7割の 方が充実していると答えている。また、学校体育施設の夜間開放で体育館やグラウンドも多いに利用されており、市民の生涯 スポーツの普及に役立っている。
	2. 施策の成果実績に結びついているこれまでの主な取り組み(事務事業)の総括 (ここ数年の間、施策及び基本事業の成果向上に貢献してきた主な事務事業の取り組み内容を中心に記述) ①【体育指導委員事業】 体育指導委員協議会が、ニュースポーツの普及に指導・講習会等開催し、小学生を含めたニュースポーツの大会が開催さ れ、多数の児童が参加している。また、ニュースポーツ関連協会においても、児童対象にした講習会や大会を開催している。 ②【総合型地域スポーツクラブ育成モデル事業】 市内に4クラブあるが、特に魚津スポラについては、市内の子供から高齢者までを対象にした、多項目・多世代型健康スポ ーツ教室、トップアスリート育成コース、ちびっ子スポーツ道場等を開催し、広くスポーツの普及に努めている。 ③【体育施設費】 老朽化していた桃山野球場について、防水改修工事、防護フェンス改修工事、スコアボード表示装置改修工事を実施し た。
3. 施策の課題認識及び23年度の取り組み状況(予定) (22年度未で残った課題、既に23年度に取り組んでいること、又は取り組むこととしている予定を記述) ①総合型地域スポーツクラブの活動情報を提供する等市民への周知に努めると共に、会員数の増加や財源の確保が図ら れ、継続的、安定的な運営が行われる体制づくりのための支援、指導に努める。 ②スポーツ施設は充実しているものの、建設からかなりの年数を経過した施設が多く、計画的な修理維持管理や改修の方向 性等を検討し、住民が利用しやすい施設整備に努める。平成23年度は桃山テニスコートの修繕を行う。	

部会評価 (協議結果、 今後の方針 及び課題等 について記 載)	※今後の施策の方向性※	維持
	市内のスポーツ施設は、県内でも充実している方であり、学校体育施設も一般開放している。スポーツ活動についても、体育 協会、体育指導委員、地区体育振興会、総合型地域スポーツクラブ、学校体育施設開放管理指導員が、それぞれ活発に活 動されており、施策の方向性としては今後も引き続き、現在の水準を維持していきたい。スポーツ施設については老朽箇所の 補修に努め、将来的改修に向け調査を進める。	

行政経営戦 略会議指示 事項	部会評価のとおり推進すること。
----------------------	-----------------

施策の トータル コスト	区 分	単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度実績
	A. 本施策を構成する事務事業の数	本数						
B. 事業費 (事務事業の事業費合計)	千円							
C. 事務事業に要する年間総時間	時間							
D. 人件費 (C×1時間あたりの平均人件費)	千円		0	0				
E. トータルコスト (B+D)	千円		0	0				
効率性 指 標	対象(受益者)1単位あたり、若しくは市民1人あたりの施策の	円	0	0				
	F. 事業費 (定義式 : B/人口)							
	同上							
	G. 人件費 (定義式 : D/人口)	円	0	0				
同上								
H. トータルコスト (定義式 : E/人口)	円	0	0					